前橋市総合教育プラザ

幼児教育センターだより

第73号　令和2年3月発行

「幼児期の教育で大切にしたいこと」

前橋市総合教育プラザ幼児教育センター
所　長　　角　田　映　子

幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領（以降新要領・指針）が同時に改訂されて２年が経過します。新要領・指針には、育みたい資質・能力と、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」が示されました。これは、令和２年度から全面実施される新小学校学習指導要領にも示され、幼児期の教育が小学校以降の学校教育の基盤となることが明確になりました。今後、前橋市の幼児教育では、何を大切にしていけばよいのか、その一つとして、育みたい資質・能力の理解や保育者の役割について、事例から探ってみましょう。

－＊－＊－＊－＊－＊－＊〈「なが～く！に挑戦」　Ａ児　４歳児７月の姿〉－＊－＊－＊－＊－＊－＊

（＿＿＿は、育みたい資質・能力が見取れる姿）

Ａ児が２本のラップ芯をセロハンテープでつなぎ合わせている。成功するともう１つのラップ芯をつなぎ始める。　３本がつながると持ち上げて「ながっ！」と言い　４本目に挑戦。　思うように接着ができなくなると、ガムテープを使う。　近くの友達が「なが～い！すごいね」の言葉をかける。　４本目が成功するとまた、持ち上げて天井まで届かないことがわかると「まだだ」と言い、５本目をつなぎ始める。　６本、７本をつなぎ合わせ、持ち上げると重みから一部分が取れてしまうと「修理、修理」と言い、補強を始めた。－＊－

＿＿＿からどのような資質・能力が見取れるでしょうか？また、保育者のどのような環境の構成と子どもとの関わりが思い描けますか？

上記の姿から見取れる資質・能力は、子どもたちの自発的な活動としての遊びの中で育まれたと考えます。これは、やがて「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」に向かっていくでしょう。そのためには、「子どもたちが自分で決めた遊びに没頭し充実感を味わえるような環境の構成や時間の設定」「目的を持ち、繰り返し挑戦しようとする思いを支える援助」「様々な友達との関わりの中で、一人一人が安心して自分らしく行動し、相互に影響し合ったり認め合ったりできる集団作り」「幼児が遊びを生み出し、何を実現しようとしているのか等を見取る保育者の姿勢」等、幼児の興味や関心を大切にした保育が必要になってくると考えます。

前橋市幼児教育センターでは、前橋市の子どもたち一人一人の成長を願い質の高い幼児期の教育を応援していきたいと思います。一緒に考えていきましょう。

次ページ以降に、身近な環境に主体的に関わり、自発的な活動としての遊びを大切にした保育を実践している前橋市立幼稚園の様子を紹介します。

♪まえばし保育教材展♪　すばらしい作品を出品していただき、ありがとうございました！

・岩神保育園	・前橋市立上川淵保育所	・前橋市立東保育所
・前橋市立南橘保育所	・前橋市立芳賀保育所	・前橋市立下川淵保育所
・前橋市立細井保育所	・前橋市立荒砥保育所	・前橋市立粕川保育所
・前橋市立富士見保育所	・認定こども園明星幼稚園	・認定こども園清華幼稚園
・認定こども園まえばしこども園	・認定こども園第二あさひ幼稚園	・認定こども園慈照幼稚園
・前橋市立まえばし幼稚園	・前橋市立おおご幼稚園	・前橋市立宮城幼稚園